

◆履修上の注意事項

- ・定期試験期間中の試験は行なわない。
- ・最終回の授業で小テストを実施するので必ず出席すること。
- ・もし欠席した場合は代わりの課題を出すので申し出ること。
(最終回を欠席し申し出もしない学生は、原則として、履修放棄とみなす)
- ・この授業についての情報は、ネットには絶対に書き込んだりしないこと。

◆参考文献

- ・講座・図書館情報学 12 図書・図書館史 三浦太郎編著 ミネルヴァ書房 2019
- ・ライブラリー図書館情報学 10 図書・図書館史 綿拔豊昭著 学文社 2014
- ・ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望 10 図書・図書館史 千錫烈編著 学文社 2014
- ・実践図書館情報学シリーズ 9 図書・図書館史 原田安啓著 学芸図書 2013
- ・JLA 図書館情報学テキストシリーズ 3-11 図書・図書館史 小黒浩司編著 日本図書館協会 2013
- ・現代図書館情報学シリーズ 11 図書・図書館史 佃一可 [ほか] 共著 樹村房 2012
- ・JLA 図書館実践シリーズ 24 図書館史の書き方・学び方 奥泉和久著 日本図書館協会 2014
- ・近代日本公共図書館年表 1867～2005 奥泉和久編著 日本図書館協会 2009
- ・大橋図書館四十年史 坪谷善四郎著 復刻版 博文館新社 2006
- ・図書館員選書 31 図書館の歴史 増訂第2版 アメリカ編 川崎良孝著 日本図書館協会 2003

◆参考ビデオ

- ・映像でみる戦後日本図書館のあゆみ 『格子なき図書館』と『図書館とこどもたち』 日本図書館協会 2014

◆ビデオのポイント

図書館とこどもたち ある市立図書館の児童奉仕 1979年（約30分）

- ・日野市立図書館の移動図書館「ひまわり号」
団地を巡回。バーコードで貸出。
- ・中央図書館
昭和48年オープン。館長の談話・3つの柱（貸出、児童サービス、全域サービス網）。
- ・多摩平児童図書館
最初は電車図書館。
- ・平山図書館
建物が新しい。
- ・高幡図書館
古くて狭い建物。
- ・地域のお話会。子どもの本を読む会。
- ・市長の談話・移動図書館の効果。市の予算の1パーセント。

格子なき図書館 1950年（約22分）

- ・古いタイプの図書館
閲覧券をお金を出して購入。索引カードで探して請求。名前を呼ばれて本を受け取る。内容の古い本。ページが切り取られた本。掲示に「禁煙・脱帽」。
- ・新しいタイプの図書館
掲示に「レコードコンサート」や「子供会」。
- ・新潟県立図書館
デパートのショーウィンドウでPR。入場無料。開架。アルファベット順目録。
- ・さまざまな試み
図書館懇談会。写真のファイル。音楽のレコード。ラジオを聞く部屋。絵画の展覧会。児童室。
- ・視聴覚ライブラリー
フィルム。紙芝居。レコード。
- ・巡回文庫、移動図書館
自動車。舟。徒歩。遠く離れた町や村へ。千葉県立図書館の「ひかり号」。
- ・全国に広がる図書館
仙台から鹿児島まで。

◎日本の図書館：昭和戦後期（1945～）

◆この時代のトピック

戦後の図書館改革

- ・焼け野原からの出発 図書館を取り巻く状況
- ・CIE の役割 図書館担当官と CIE 図書館
- ・社会教育改革の中で 図書館の位置づけ
- ・多様な立場からの関与 図書館法にかかわった人々
- ・総合法か単独法か 立案過程における図書館法と社会教育法の複雑な関係
- ・図書館の望ましい在り方は
- ・紆余曲折の末に 「図書館法」成立へ

1950 年代の図書館

- ・図書館法改正の動きとその波紋
- ・公共図書館活動「てこ入れ」のために ワークショップ
- ・謙虚な役割を果たすための「抵抗」 中立性論争
- ・民衆のための宣言 「図書館の自由宣言」
- ・民衆と結び付く方法を求めて さまざまな読書運動

『中小都市における公共図書館の運営』の刊行と図書館観の転換

- ・図書館発展方向の模索
- ・『中小都市における公共図書館の運営』の作成過程
- ・『中小レポート』の内容
- ・『中小レポート』の意義

市民の図書館の創造

- ・日野市立図書館の実践
- ・日野市立図書館の運営の特徴
- ・『市民の図書館』の刊行

1970 年代における図書館の発展と図書館づくり運動

- ・三多摩の図書館
- ・東京都の振興策
- ・住民運動と図書館づくり



1945(昭和 20)	終戦。日本の無条件降伏。連合国による占領開始。各地で図書館再開 CIE 図書館開館（東京）
1946(昭和 21)	日本国憲法公布 第一次米国教育使節団来日
1947(昭和 22)	教育基本法・学校教育法公布 地方自治法により、地方議会に図書室設置義務化
1948(昭和 23)	国立国会図書館法公布 国立国会図書館、赤坂離宮（現迎賓館）を仮庁舎として開館
1949(昭和 24)	社会教育法公布 千葉県立図書館、移動図書館の運行開始
1950(昭和 25)	図書館法公布 新潟県立図書館、開架式閲覧方式を採用。CIE 映画「格子なき図書館」
1951(昭和 26)	図書館法第 17 条施行（図書館の利用が無料に）
1952(昭和 27)	サンフランシスコ講和条約発効。連合国による占領終了（沖縄等は除く） 破壊活動防止法などとの関係で図書館の中立性についての論争
1953(昭和 28)	学校図書館法公布
1954(昭和 29)	「図書館の自由に関する宣言」採択
1957(昭和 32)	東京都立日比谷図書館新館開館（現、千代田区立日比谷図書文化館）
1958(昭和 33)	石井桃子、児童文庫「かつら文庫」開始
1961(昭和 36)	国立国会図書館、永田町の現庁舎第一期工事竣工
1963(昭和 38)	日本図書館協会『中小都市における公共図書館の運営』刊行
1965(昭和 40)	日野市立図書館、移動図書館によるサービス開始 石井桃子『子どもの図書館』刊行（全国で文庫活動が盛んに）
1966(昭和 41)	日野市立図書館、高幡図書館、多摩平児童図書館開館
1967(昭和 42)	日野市立図書館、福祉センター図書館開館
1970(昭和 45)	日本図書館協会『市民の図書館』刊行
1971(昭和 46)	日野市立図書館、平山児童図書館、多摩平児童図書館新館開館
1973(昭和 48)	日野市立図書館、中央図書館開館
1977(昭和 52)	日野市立図書館、コンピュータによる貸出スタート
1979(昭和 54)	映画「図書館とこどもたち」